
7 0 1 4 . 他所蔵置許可（期間延長）申請呼出し

業務コード	業務名
TYC11	他所蔵置許可（期間延長）申請呼出し 他所蔵置許可申請情報照会

1. 業務概要

本業務により以下の内容を行う。

(1) 許可前の訂正呼出し

許可前の他所蔵置許可申請に対して訂正を行う場合に、本業務を行う直前の申請内容を「他所蔵置許可申請（ＴＹＣ）」業務の入力画面に展開する。

(2) 期間延長申請呼出し

他所蔵置許可期間の延長を行う場合に、本業務を行う直前の許可内容を「他所蔵置許可期間延長申請（ＴＹＥ）」業務の入力画面に展開する。

(3) 他所蔵置許可申請情報照会

他所蔵置許可申請内容または、許可内容の照会を行う。

2. 入力者

税関、通関業、機用品業、保税蔵置場、ＣＹ、ＮＶＯＣＣ、海貨業

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
 - ②入力者が税関の場合は、他所蔵置許可申請情報照会であること。
 - ③入力者が税関以外の場合で他所蔵置許可申請番号が入力された場合は、ＴＹＣ業務を行った利用者と同一であること。
 - ④税関以外の入力者による他所蔵置許可申請情報照会の場合で、貨物管理番号*¹が入力された場合は、当該貨物に対して入力者がＴＹＣ業務を行った情報が存在すること。
- (＊１) 貨物管理番号とは、Ｂ／Ｌ番号（ＣＴ－Ｂ／Ｌ番号を含む。）または輸出管理番号のことをいう。

(2) 入力項目チェック

(Ａ) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(Ｂ) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 他所蔵置許可申請ＤＢチェック

(Ａ) 許可前の訂正呼出しの場合

- ①入力された他所蔵置許可申請番号に対する他所蔵置許可申請ＤＢが存在すること。
- ②他所蔵置許可申請中であること。

(Ｂ) 期間延長申請呼出しの場合

- ①入力された他所蔵置許可申請番号に対する他所蔵置許可申請ＤＢが存在すること。
- ②他所蔵置許可済であること。
- ③他所蔵置許可期間または延長承認期間を経過していないこと。

(4) 貨物情報ＤＢチェック

他所蔵置許可申請の情報を照会する場合に、貨物管理番号が入力された場合は、入力された貨物管理番号に対して以下のチェックを行う。

- ①入力された貨物管理番号に対する貨物情報ＤＢが存在すること。
- ②ＴＹＣ業務による他所蔵置許可申請情報が存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-000000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-000000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(訂正)情報または、他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(期間延長)情報編集出力処理

入力された他所蔵置許可申請番号に該当する他所蔵置許可申請DBより他所蔵置許可(期間延長)申請呼出情報等の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(照会)情報編集出力処理

入力者が税関以外の場合で貨物管理番号が入力された場合は、入力者が登録した他所蔵置許可申請情報を抽出する。

また、入力者が税関の場合で貨物管理番号が入力された場合は、登録されている他所蔵置許可申請情報をすべて抽出する。

他所蔵置許可申請番号が入力された場合は、該当する他所蔵置許可申請DBより他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(照会)情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(4) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

①許可前の訂正呼出し及び期間延長申請呼出しの場合で、呼出情報を元に申請内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である。

②入力された他所蔵置許可申請番号は、訂正または取消し等がされている

③貨物管理番号の入力により照会を行った場合で、当該貨物管理番号に係る貨物に対して10件以上の他所蔵置許可申請情報が登録されている。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	訂正または期間延長の場合	入力者
他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(訂正)情報	訂正の場合	入力者
他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(期間延長)情報	期間延長の場合	入力者
他所蔵置許可(期間延長)申請呼出(照会)情報	照会の場合	入力者

7. 特記事項

1つの貨物管理番号に係る貨物に対して登録可能な他所蔵置許可申請は、最大10件までとなっていることから、貨物管理番号の入力により照会を行った場合、当該貨物管理番号に係る貨物に対して行われた最大10件までの他所蔵置許可申請情報が照会可能となる。(有効な情報を優先して出力する。)

一方、他所蔵置許可申請番号の入力により照会を行った場合、当該申請番号に係る他所蔵置許可申請情報を出力する。